

2023年 7月 卒後藤谷塾 議事録

開催日 2023年 7月12日(水) 7:00~8:00

■活動報告

- ①所属部署
- ②活動内容
- ③困っていること、その他相談など

【6期生】

A(山梨県)

- ①看護部
- ②透析室
- ③なし

B(茨城県)

- ①看護部 外来
- ②救急外来患者対応、救急搬送時救急車同乗、褥瘡管理、患者受け持ち、
医師の指示・処方の代行入力、NPPV管理
- ③なし

C(三重県)

- ①看護部
- ②透析室、精神科病棟患者管理
- ③なし

D(神奈川県)

- ①看護部
- ②特定集中治療室看護師業務、新人・ラダー研修講師
- ③なし

【7期生】

E(神奈川県)

- ①看護部
- ②特定行為実施 受け持ち患者の対応 初診外来 急変対応 診療情報提供書代行入力
血管内手術助手 開頭手術助手 麻酔管理
- ③なし

F(福岡県)

- ①看護部
- ②内科研修、内科入院患者の受け持ちと入院管理、特定行為実践
- ③なし

G(愛知県)

- ①看護部
- ②内科・麻酔科研修、整形外科手術介助、病棟管理、特定行為実践
- ③なし

H(神奈川県)

- ① 総合診療部
- ② 担当患者を受け持ち（現在7人）指導医の指導を受けながら診療へ介入、微量元素チーム入院対応、発熱外来、Dr.car 搬送、特定行為（Aline、PICC）、ラピッドレスポンス担当
- ③ なし

J(神奈川県)

- ①看護部 脳神経内科研修中
- ②担当患者の病棟管理（担当5名程度）、点滴・内服の代行処方、特定行為の実践
- ③なし

■症例発表

主訴：意識障害

90歳代女性、要介護3で有料老人ホームに入所している。脳梗塞、下肢静脈血栓症などの既往があり、抗血栓薬を内服している。6月下旬より黒色便を認めていた。受診当日朝の覚醒状況が悪く、往診医の判断で救急外来を受診した。

ショック

意識障害

黒色便

高度貧血

消化管出血

藤谷塾長より

・エリキユース

血液検査での至適用量の評価はできない。この症例では90歳に対して投与するには用量が多く、医原性の出血であった可能性を考える。

・輸血関連循環過負荷（TACO; Transfusion-associated circulatory overload）

輸血中または輸血後6時間以内に発症する急性の呼吸困難、心不全。今回の症例ではERでの

バイタルサインではショックを呈しておらず、輸液を全開投与せずに製剤が準備でき次第輸血という方針でもよかったかもしれない。

- ・ 離島での輸血

離島には輸血のストックが常にあるわけではない(あっても使わずに破棄となる例もある)。島民が予め肝炎などの検査をしておき、島内で輸血が必要になったときに島民がボランティアとして集まり、全血輸血の対応ができる仕組みがあった(20年前の出来事)。移植片対宿主病(GVHD)予防のため、放射線照射ができる設備が整えていた。

- ・ 自分が地域に行ってできることは必ずある。何ができるかをしっかり考えておくこと。